

2014年12月1日

大学関係者各位

【最終報告】大学祭開催期間に関して

北大祭全学実行委員会

このことについて、北大祭全学実行委員会では再三にわたる事情説明、および4日間開催での実施を要求してきましたが、遺憾ながら大学側の同意が得られない状況にあります。学事歴の決定時期、および来年度大学祭の開催時期が差し迫ってきていることから、ここに本実行委員会からの意見要旨を最終報告として提出いたします。

記

- 一、今回の検討依頼は、国際化の推進に向けた様々なカリキュラム変更（4学期制の導入、サマーインスティテュートにおける国際交流など）によって、夏季休業日を前倒しすることに起因している。北大祭の期間削減によって確保し得る講義日1日分が、上記の目標を達成する上でいかに有用であるか不明瞭である。
- 一、これまでの意見交換会での説明や各種資料から、国際化の推進に向けた取り組みを本格的に開始するのは平成28年度以降と認識している。そのため、来年度に関しては開催期間を削減するに値する理由があるとは思えない。
- 一、将来的な開催日数に関して議論するのであれば、より詳細な大学側からの資料開示が求められる。現状の説明では検討段階の要素が多いため、平成28年度以降を見据え、議論を先延ばしにすることも一つの選択肢であろう。
- 一、これまでの意見交換会で述べてきたように、大学祭の1日削減が被る負の影響は計り知れない。このことは、前回示した通り、大多数の学内外関係者が削減に反対しているという事実からも明らかである。

以上の点から本実行委員会は、継続して大学祭の開催期間削減に反対いたします。本学の貴重な文化の祭典として位置づけられる北大祭の、実質的な規模縮小という提案がなされた事実そのものが残念でなりません。このことについて、大学側は誠意を持った態度で応じ、その矜持を持って最終的な判断がなされることを願っております。

以上